

千葉市作山古墳群（第2次）

－宅地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書－

2022

公益財団法人 千葉市教育振興財団

例言

- 1 本書は、千葉市中央区仁戸名町 397-3・4・5・10・11 の各一部に所在する作山古墳群の宅地造成に伴う発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査および整理作業は、イノベーション不動産株式会社の委託を受け、千葉市教育委員会生涯学習部文化財課の指導のもと公益財団法人千葉市埋蔵文化財団が実施したものである。
- 3 発掘調査の期間・面積・担当者は下記のとおりである。
・確認調査
期間：2018（平成30）年5月7日～2018（平成30）年5月14日 面積：128 m²/1,503.69 m² 担当者：松田光太郎・山口洋子（千葉市埋蔵文化財調査センター）
・本調査
期間：2020（令和2）年11月24日～2020（令和2）年12月17日 面積：201.70 m² 担当者：小林嵩（公益財団法人千葉市埋蔵文化財調査センター）
- 4 整理作業および本書の製作・編集は、吉村瑞子・新田浩美・北田典子・佐藤ひかるの協力を得て、小林が担当して行った。
- 5 整理期間は、2021（令和3年）年4月1日～2022（令和4年）年2月28日を以て、順次的に実施した。
- 6 遺構・遺物の撮影は小林が行った。
- 7 本書の執筆は、第1章は松田光太郎（千葉市埋蔵文化財調査センター）が行い、他は小林が行った。
- 8 出土資料・調査記録等は千葉市埋蔵文化財調査センターで保管・管理している。
- 9 発掘調査から報告書刊行まで、下記の諸機関の御指導・御協力を賜った。
- 千葉市教育委員会生涯学習部文化財課・イノベーション不動産株式会社

凡例

- 1 本書に掲載した遺構図等の方位は、公共座標の北を基準としている。
- 2 土器及び遺物の色を記号で示してある場合は、農林水産省監修「新版 標準土色帖」による。
- 3 本文中の地図の縮尺は原則として以下のとおりである。
遺構実測図：1/60
遺物実測図：土器 1/4・1/3 土製品・石製品・銅・鉄製品：
1/3・1/2・1/1
- 4 遺構・遺物の図面は Adobe Systems 社製 Adobe Illustrator で編集作業を行った。
- 5 遺構・遺物写真はデジタルカメラで撮影し、Adobe Systems 社製 Adobe Photoshop で編集作業を行った。
- 6 本文中の遺構の略称は以下のとおりである。
堅穴建物跡：SI

目次

例言・凡例

目次

第1章 調査に至る経緯	1
第2章 作山古墳群遺跡の概要	1
1 遺跡の立地と周辺の遺跡	1
2 過去の調査歴	1
3 調査・整理の方法	4
第3章 検出した遺構と遺物	4
1 繩文時代	4
2 弥生時代	4
3 古墳時代	4
4 奈良・平安時代	13
5 中・近世	13
第4章 まとめ	13
写真図版	
抄録	

表目次

第1表 出土遺物集計表	16	第2表 出土遺物観察表	17
挿図目次			
第1図 作山古墳群の位置と周辺遺跡の調査歴	2	第2図 本調査範囲と確認調査範囲	3
第3図 遺構配置図	3	第4図 繼文時代・弥生時代遺構外	4
第5図 第1号竪穴建物跡	5	第6図 第2・6号竪穴建物跡（1）	6
第7図 第2・6号竪穴建物跡（2）	7	第8図 第2・6号竪穴建物跡（3）	8
第9図 第3・5号竪穴建物跡（1）	9	第10図 第3・5号竪穴建物跡（2）	10
第11図 第3・5号竪穴建物跡（3）	11	第12図 第3・5号竪穴建物跡（4）	12
第13図 第4号竪穴建物跡	12	第14図 奈良・平安時代・中・近世遺構外	13
第15図 出土炭化種子と作山古墳群の現況	14		

写真図版目次

図版1 調査前現況（北から）、第1号竪穴建物跡全景（南東から）、第2・6号竪穴建物跡全景（南東から）、第2号竪穴建物跡全景（南東から）、第3・5号竪穴建物跡全景（南から）、第3・5号竪穴建物跡上層断面（南西から）、第3号竪穴建物跡遺物出土状況（南から）、第3号竪穴建物跡全景（南から）	
図版2 第4号竪穴建物跡全景（南東から）、第5号竪穴建物跡全景（南西から）、第5号竪穴建物跡の竪穴内遺物出土状況（北から）、第6号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）、第6号竪穴建物跡全景（南東から）、調査風景1、調査風景2、調査終了	
図版3 繼文時代遺構外・弥生時代遺構外・第1号竪穴建物跡・第2号竪穴建物跡	
図版4 第3号竪穴建物跡・第5号竪穴建物跡	
図版5 第5号竪穴建物跡・第6号竪穴建物跡	
図版6 第6号竪穴建物跡・奈良・平安時代遺構外・中・近世遺構外	

第1章 調査に至る経緯

令和元年12月19日付けで、イノベーション不動産株式会社（以下「事業者」という）より、千葉市中央区仁戸名町397番、402番6（面積1504.08m²）について、「埋蔵文化財発掘の届出について」が千葉市教育委員会教育長あてに提出された。工事目的は宅地造成である。この事業地は別事業に関して平成30年度に実施した確認調査において、遺構が検出されていたため、令和2年1月22日付け31千教埋セ第355号にて、工事着手前に発掘調査を実施するように通知した。しかしその後、協議をすることなく、工事請負業者により、埋蔵文化財包蔵地の一部に掘削工事が実施された。そこで工事請負業者と協議を行い、工事未実施区域のうち埋蔵文化財の破壊が避けられない区域について、発掘調査を実施することになった。そして令和2年10月14日付けで、事業者より、仁戸名町397番3、同番4、同番5、同番10、同番11の各一部（面積201.7m²）について、「埋蔵文化財発掘調査について」の依頼があり、公益財団法人千葉市教育振興財団が同年11月24日から発掘調査を実施することになった。また埋蔵文化財に影響が及ばないと判断される区域については保護層を確保した上で工事を進めることになった。

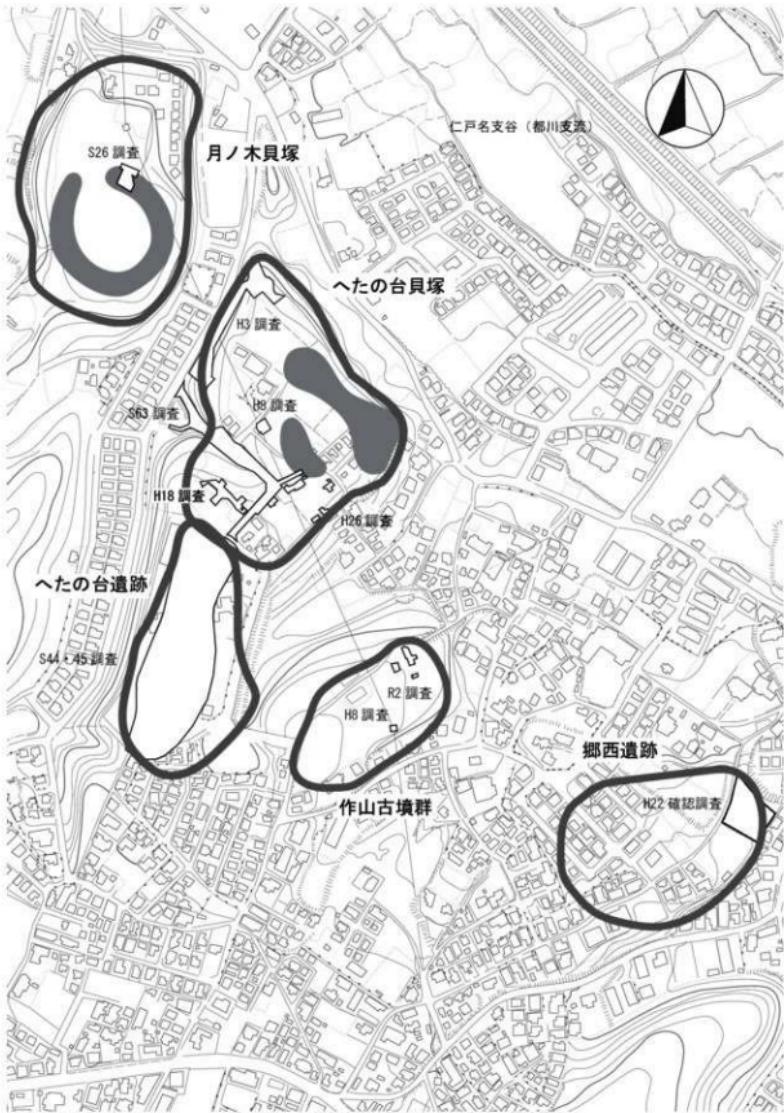
第2章 作山古墳群の概要

1 遺跡の立地と周辺の遺跡（第1図）

作山古墳群は、千葉市内を流れる都川の河口付近より東南に向かって開析される仁戸名支谷中流部の標高約24mを測る台地上に立地している。本遺跡周辺には多くの遺跡が存在する。縄文時代の遺跡としては小支谷を挟み北西側に、中期中葉の馬蹄形貝塚であるへたの台貝塚が位置する。過去に幾度かの調査が行われ、小堅穴などが検出された。さらに北西側にはほぼ同時期に形成されたとみられる国指定史跡月ノ木貝塚が位置する。弥生時代の遺跡は少ないが、へたの台貝塚から県内でも類例の少ない中期前葉の東北地方南部の型式である龍門寺式系の破片が出土し注目される。終末期の遺跡としては小支谷を挟み南東側に郷西遺跡が位置する。確認調査のみだが、比較的遺構の密度が濃いことが判明している。その後、しばらく周辺の土地利用は低調であるが、へたの台貝塚では古墳時代後期になると集落が形成され、古墳群も展開し円墳が調査されている。古代は遺物が確認されるのみで遺構は明瞭ではないが、中世にはへたの台貝塚でテラス状遺構などの城郭関連遺構の可能性がある遺構が検出され、墓壙と考えられる遺構から和鏡が出土している。

2 過去の調査歴

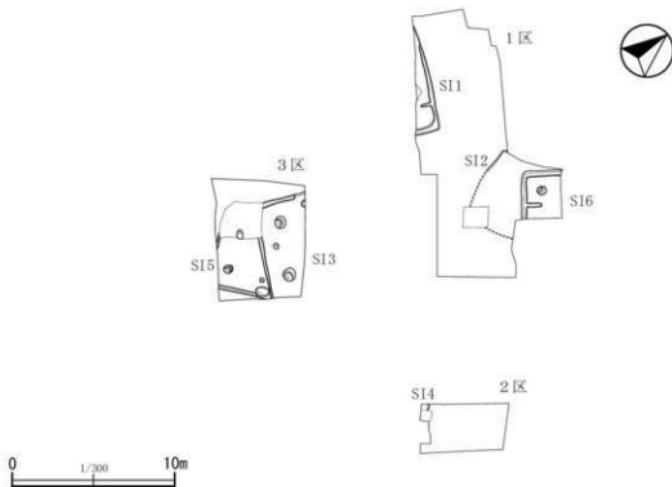
作山古墳群の発掘調査は、今回が2回目である。平成8年度に送電鉄塔建設に伴い調査が行われ、ごく小規模な調査ではあるが古墳時代後期の堅穴建物跡1軒と中世の地下式坑1基が検出された。この平成8年度調査を第1次調査、本報告の令和2年度調査を第2次調査と呼称する。遺構番号は過去の調査からの通し番号とはしていない。なお、第1次調査の報告書は刊行されていない。



第1図 作山古墳群の位置と周辺遺跡の調査歴



第2図 本調査範囲と確認調査範囲



第3図 造構配置図

3 調査・整理の方法（第2・3図）

調査区内に基準杭を設定し、遺構平面図作成と遺物の取り上げは、この杭を基準として行った。また、各調査区に通し番号を振った。

第3章 検出した遺構と遺物

1 縄文時代（第1・2表・第4図）

（1）概要

縄文時代の遺構は検出されなかったが、土器が僅かに検出された。遺物の総数は集計表（第1表）に記載した。

（2）遺構外出土遺物（第1・2表、第4図）

各遺構の覆土から縄文時代の土器が僅かに出土し、加曾利E II～III式と考えられる。土器以外の遺物は出土していない。

2 弥生時代（第1・2表・第4図）

（1）概要

弥生時代の遺構は検出されなかったが、土器が僅かに検出された。遺物の総数は集計表（第1表）に記載した。

（2）遺構外出土遺物（第1・2表、第4図）

各遺構の覆土から弥生時代の土器が僅かに出土し、前期末葉の荒海式と考えられる。土器以外の遺物は出土していない。

3 古墳時代

（1）概要

古墳時代後期の堅穴建物跡6軒が検出された。各遺構の遺物の総数は集計表（第1表）に記載した。

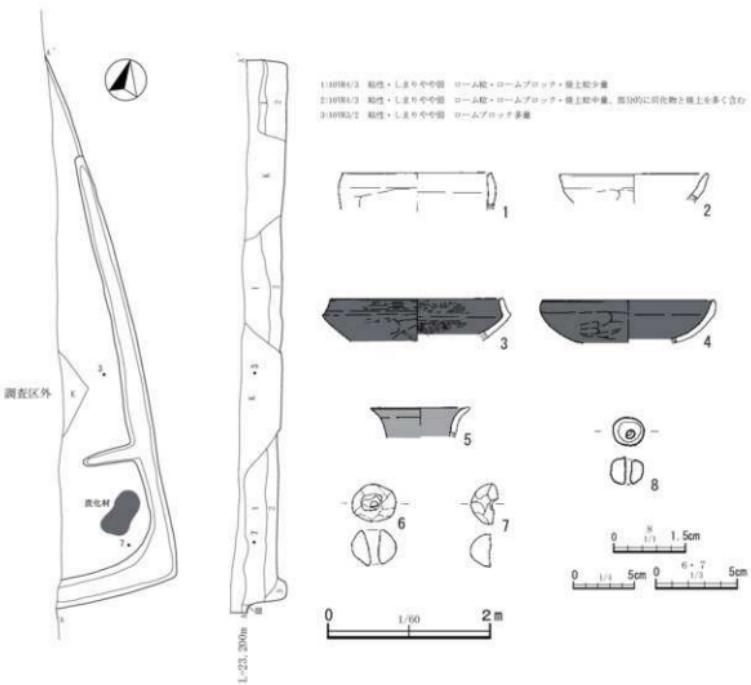
縄文時代遺構外



弥生時代遺構外



第4図 縄文時代・弥生時代遺構外



第5図 第1号竪穴建物跡

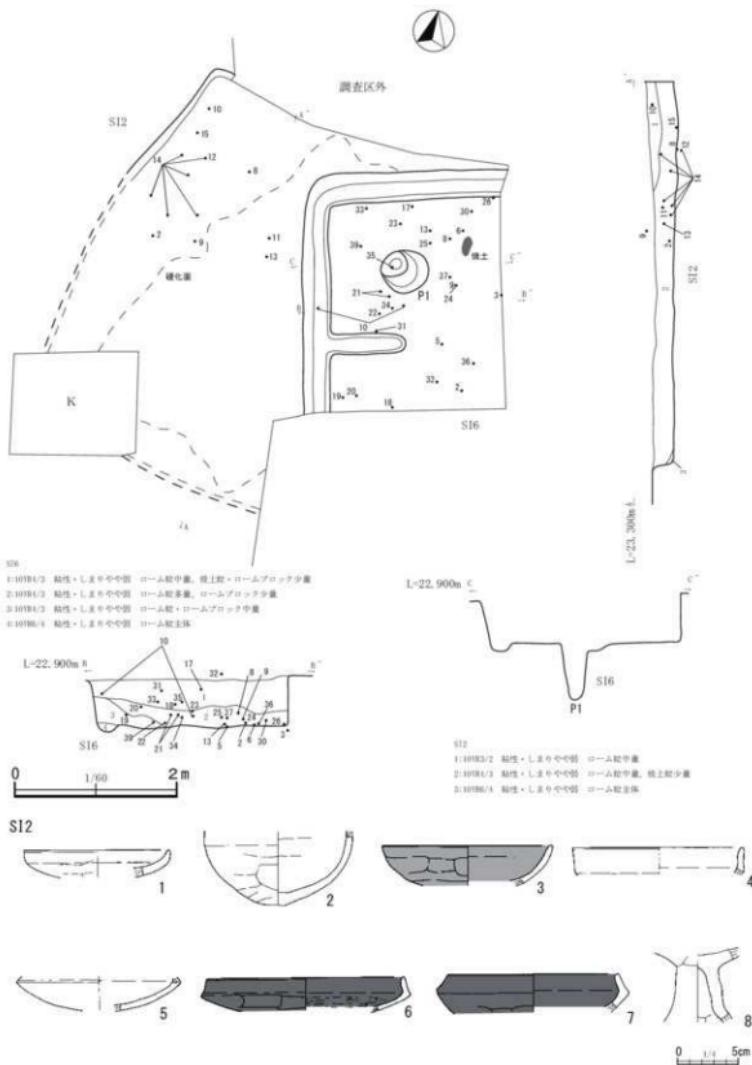
(2) 竪穴建物跡

第1号竪穴建物跡（第1・2表、第5図）

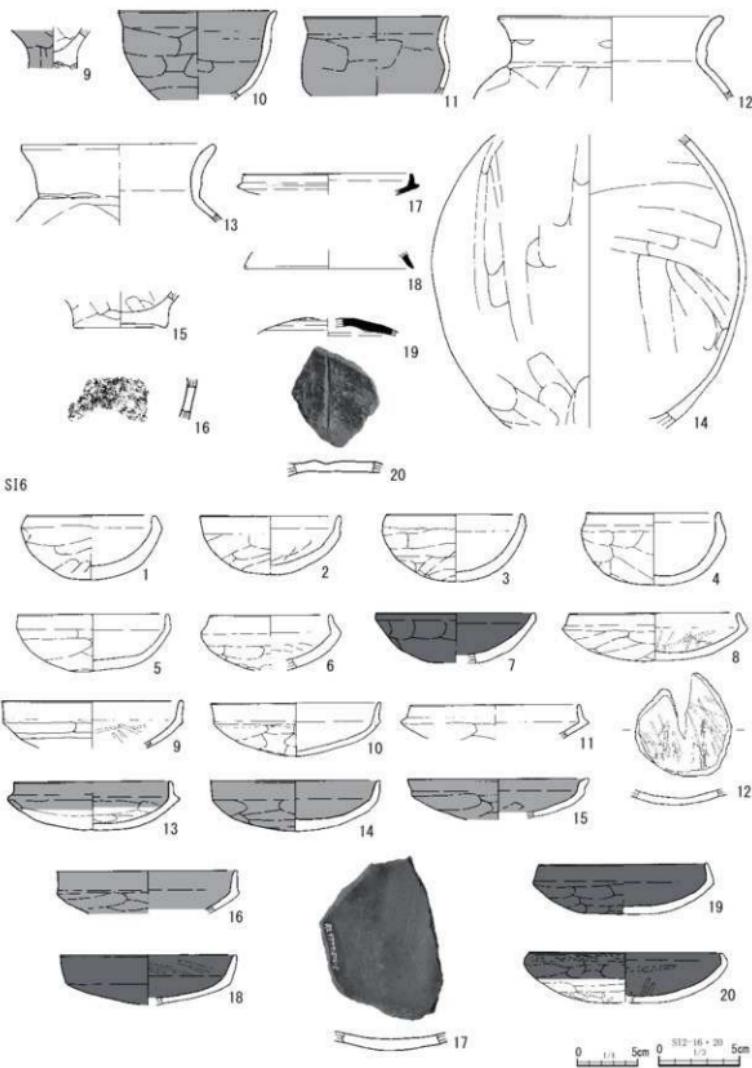
1区に位置する。重複関係：なし。一部調査区外。平面形態：方形と考えられる。規模：長軸 $<6.65>\text{m}$ 、短軸 $<1.2>\text{m}$ 、深さ 0.30m。構造：底面は平坦であり、壁は垂直気味に立ち上がる。貼床であり、全体的に硬化していた。壁講は全周せず、幅 0.33m、深さ 0.24m を測る。覆土：ロームブロックが混入し、均質的であることから人為的な埋土と考えられる。下層は焼土を含み、部分的に炭化材と焼土を多く含む。床面から炭化材・焼土が検出されたことから、焼失住居ないし、廃絶後に部材を焼却して投棄した可能性が考えられる。遺物：覆土中及び床面からの遺物の出土は非常に少なく、小破片が多い。また、炭化材中から石製小玉が1点出土した。時期：出土した土師器壺に黒彩されたものがあることから、古墳時代後期 TK43型式期。

第2号竪穴建物跡（第1・2表、第6・7図）

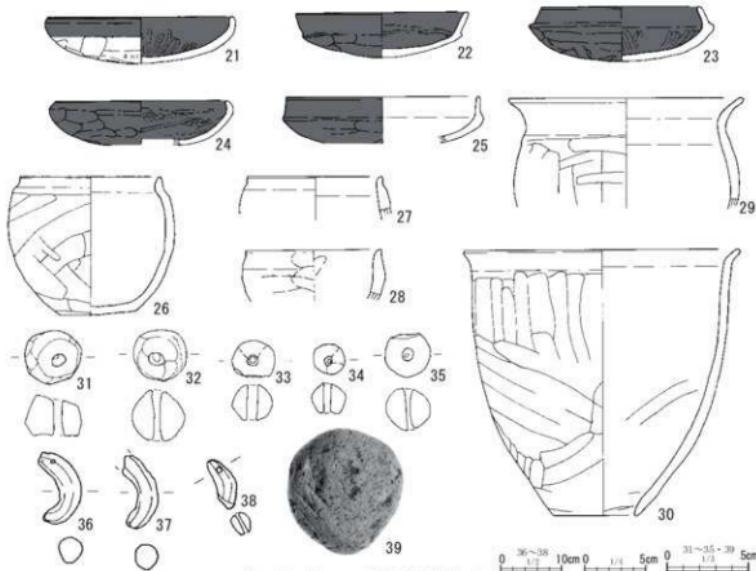
1区に位置する。重複関係：第6号竪穴建物跡と重複し、本遺構が古い。一部調査区外。平面形態：方形と考えられる。規模：長軸 $<4.78>\text{m}$ 、短軸 $<3.03>\text{m}$ 、深さ 0.2m。構造：掘り込みが浅く、一部掘



第6図 第2・6号竪穴建物跡（1）



第7図 第2・6号竪穴建物跡（2）



第8図 第2・6号竪穴建物跡(3)

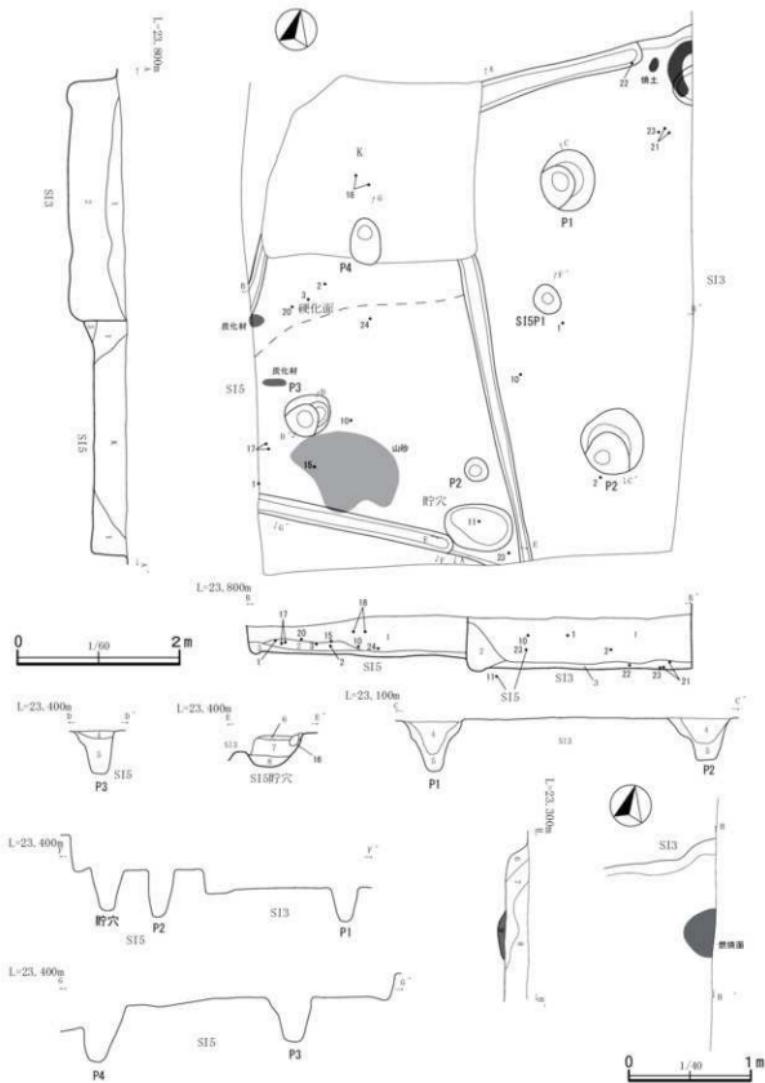
0 36~38 10cm 0 1/4 5cm 0 31~35~39 5cm

り込みがソフトロームに達していない部分があり、壁の検出が一部できなかった。ソフトロームを床面として、中央付近が硬化している。柱穴・周溝は検出されなかった。カマドは検出されなかつたが、住居北側の床面から一部流出したと考えられる山砂が検出された。覆土：ロームブロックなどを含まないが、均質的で人為的な埋土の可能性が高い。遺物：遺物の出土は少なく、細片で占められるが、床面近くからやや残りの良い土器が出土している。特に北西隅でまとまった遺物の出土がある。時期：出土した土師器壺に黒彩されたものがあること、須恵器壺の特徴から古墳時代後期 TK43 型式期。

第3号竪穴建物跡（第1・2表、第9・10図）

3区に位置する。重複関係：第5号竪穴建物跡と重複し、本遺構が新しい。一部調査区外。平面形態：方形。規模：長軸<6.10>m、短軸<2.88>m、深さ 0.63m。構造：床面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。ハードロームを床面としている。柱穴が 2 基検出され、周溝は調査された範囲では全周する。北壁からカマドが検出されたがほぼ残存しておらず、焼土が集中する箇所があるのみであった。また、北西側の壁は擾乱により検出できなかった。覆土：ロームブロックを多量に含み、均質的であることから、人為的な埋土と考えられる。床面付近で一部焼土が検出された。遺物：遺物の出土は少なく細片で占められ被熱しているものも多い。床面付近からの出土もごく僅かである。カマド前から第10図 21～23 の手捏ね 3 点が置かれた状態で出土し、祭祀に伴うものと考えられる。時期：出土した土師器壺の特徴、黒彩されたものがあることから、古墳時代後期 TK43 型式期。

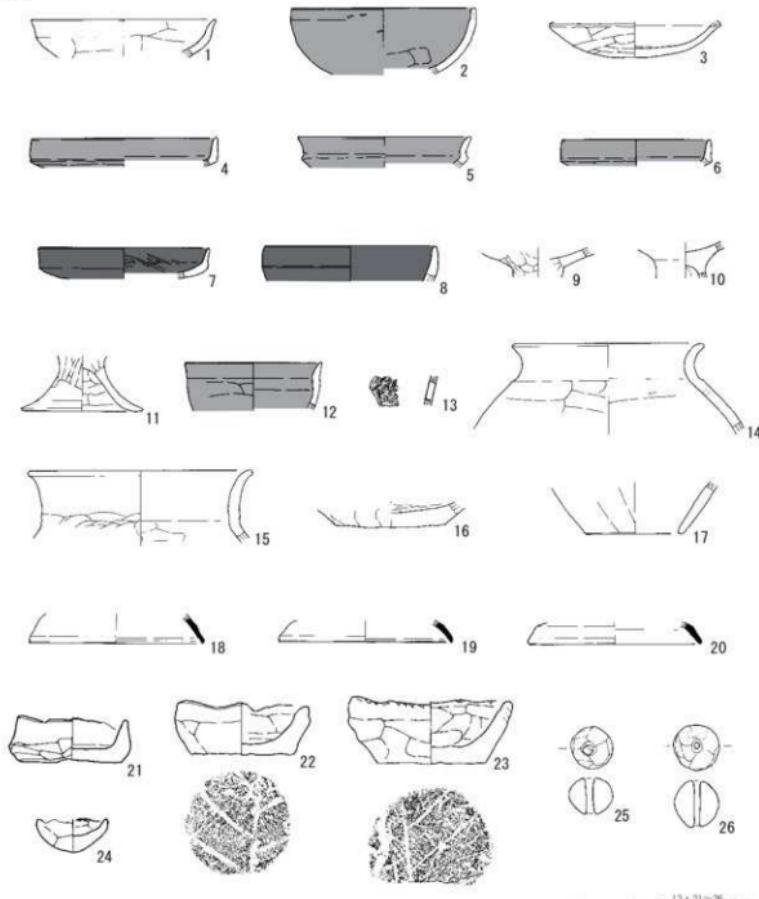
第4号竪穴建物跡（第1表、第13図）



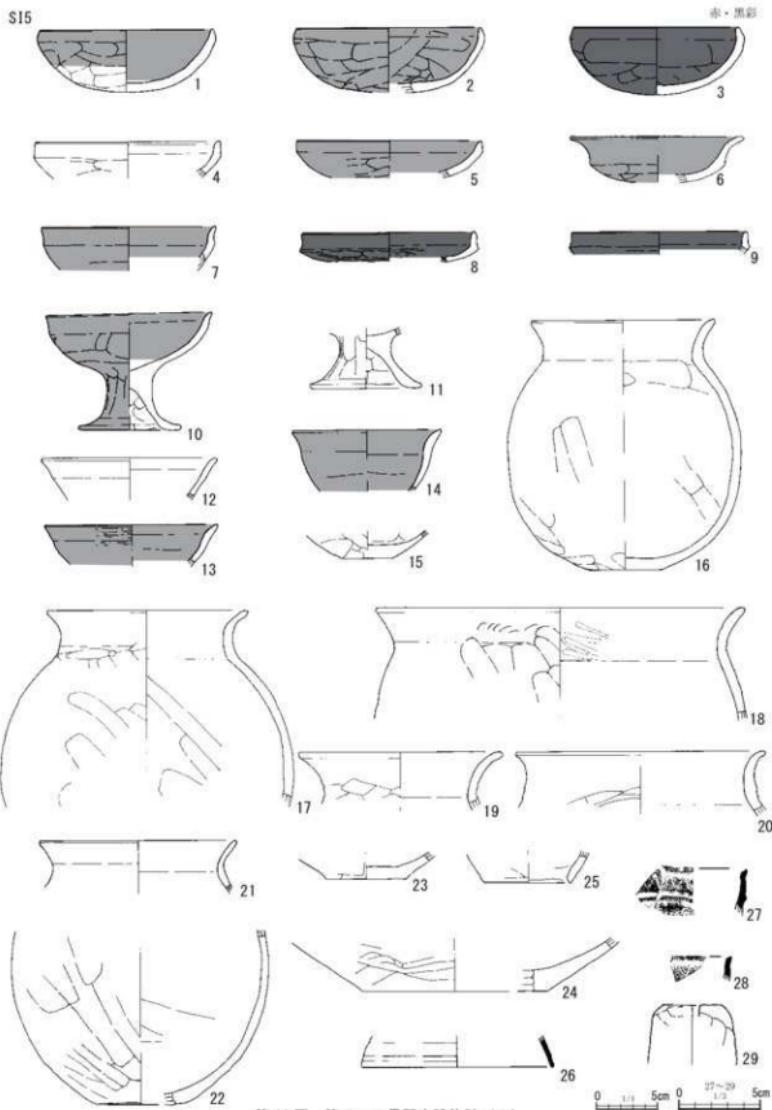
第9図 第3・5号竪穴建物跡（1）

511	110703/2	粘性。しまりやや強 ローム粘土質。ロームブロック、埴土質少量	513	110704/3	粘性。しまりやや強 ローム粘・ロームブロック中量
2	110704/3	粘性。しまりやや強 ローム粘・ロームブロック多量。埴土質少量	2	110704/3	粘性。しまりやや強 ローム粘・ロームブロック、埴土質少量
2	110704/3	粘性。しまりやや強 ローム粘・ロームブロック中量	3	110707/4	粘性。しまりやや強 ロームブロック多量。底の粗り方
4	110704/3	粘性。しまりやや強 ローム粘多量。ロームブロック中量。粗粒大きいもの含む	4	110702/2	粘性。しまりやや強 ローム粘・ロームブロック少量
5	110704/4	粘性。しまりやや強 ローム粘・ロームブロック主張	5	110706/4	粘性。しまりやや弱 ローム粘・ロームブロック主張
6	110704/2	粘性。しまりやや強 ローム粘・埴土質少量	7	110703/2	粘性。しまりやや弱 ローム粘中量。ロームブロック、埴土質、山砂少量
7	110703/2	粘性。しまりやや強 ローム粘・ロームブロック少量。埴土質中量。天井側頂上	8	110703/2	粘性。しまりやや強 ローム粘少量
8	110704/3	粘性。しまりやや強 ローム粘・ロームブロック中量。埴土質少量	9	110703/2	粘性。しまりやや強 ローム粘少量

SI3



第10図 第3・5号竖穴建物跡 (2)



第11図 第3・5号竪穴建物跡(3)

2区に位置する。重複関係：なし。ほぼ調査区外。平面形態：方形と考えられる。規模：長軸<0.50>m、短軸<0.45>m、深さ0.62m。構造：床面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床である。柱穴・周溝・カマドは検出されなかった。覆土：ロームなどをあまり含まず、自然堆積と考えられる。遺物：なし。時期：遺物は出土しなかったが、確認調査時に本遺構近くから出土した土器及び2区内から出土した土器から判断すると古墳時代後期の可能性が高い。

第5号竪穴建物跡（第1・2表、第9・11・12図）

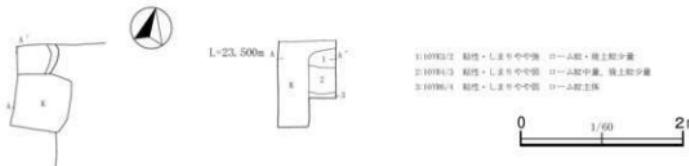
3区に位置する。重複関係：第3号竪穴建物跡と重複し、本遺構が古い。一部調査区外。平面形態：方形。規模：長軸<3.59>m、短軸<2.82>m、深さ0.52m。構造：床面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼り床であった。柱穴が4基検出され、周溝は一部途切れている。カマドは検出されなかつたが、南側の床面から山砂が検出された。北側は搅乱によりほぼ検出できなかつた。覆土：ロームブロックを多量に含み、均質的であることから人為的な埋土。床面付近は一部炭化材と焼土を含む。床面上で、炭化材と焼土が検出されたことから、焼失住居ないし、廃絶後に部材を焼却して投棄した可能性がある。遺物：覆土中から細片がやや多く出土し、床面付近からは残りの良い土器を含め、まとまつた土器の出土がある。北側の搅乱中から出土した遺物もある程度原位置を留めていると考えられる。時期：出土した土師器壺・高杯の特徴、赤彩と黒彩双方が施されたものがあることから、古墳時代後期TK10～43型式期。

第6号竪穴建物跡（第1・2表、第6～8図）

1区に位置する。重複関係：第2号竪穴建物跡と重複し、本遺構が新しい。一部調査区外。平面形態：方形。規模：長軸<2.98>m、短軸<2.46>m、深さ0.59m。構造：床面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼り床であった。柱穴が1基検出され、周溝は調査された範囲では全周する。北壁からカマドが検出されたがほぼ残存しておらず、山砂が部分的に検出されるのみであった。覆土：レンズ状に堆積し、ロームブロックなどが少なく自然堆積の可能性が高い。遺物：床面付近からはまとまつた土器の出土がある。特にカマドの近辺からは完形に近い壺などが床に置かれた状態で多量に出土し、



第12図 第3・5号竪穴建物跡（4）



第13図 第4号竪穴建物跡

祭祀に伴うものと考えられる。時期：出土した土師器坏に扁平なものが含まれること、黒彩されたものがあることから、古墳時代後期 TK209 型式期。

(3) 遺構外出土遺物（第1表）

本調査で検出されたのは竪穴建物跡6軒だが、調査区内から遺物が少量検出されている。遺物の総数は集計表（第1表）に記載した。

4 奈良・平安時代

(1) 概要

遺構は検出されなかつたが、各遺構及び調査区から土器が僅かに出土している。遺物の総数は集計表（第1表）に記載した。

(2) 遺構外出土遺物（第1・2表、第14図）

土師器の甕や、須恵器の坏蓋・壺・瓶類が僅かに出土した。

5 中・近世

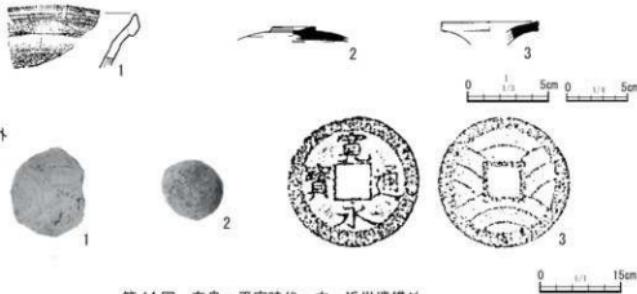
(1) 概要

遺構は検出されなかつたが、各遺構及び調査区から陶磁器類が少量出土している。遺物の総数は集計表（第1表）に記載した。

(2) 遺構外出土遺物（第1・2表、第14図）

陶磁器の碗・鉢類が少量、火打石や寛永通宝などが出土地してい。

奈良・平安時代遺構外



第14図 奈良・平安時代・中・近世遺構外

第4章 まとめ

1 縄文時代

縄文時代の遺構は検出されず、遺物もごく僅かであった。遺物の時期は隣接するヘタ台貝塚の形成時期と重複するが、本遺跡の土地利用は希薄だったようである。

2 弥生時代

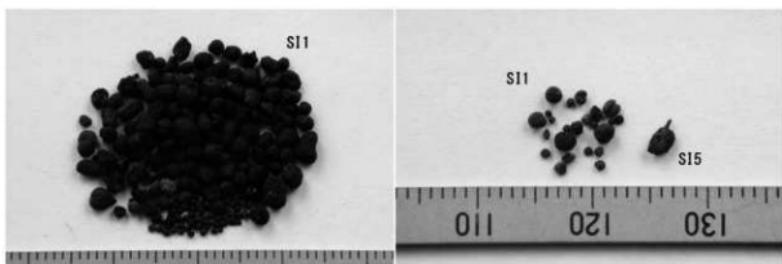
弥生時代の遺構は検出されず、遺物もごく僅かであった。前期末葉の荒海式期の資料は隣接するべたの台貝塚でも僅かに出土し、中期中葉の龍門寺式の破片も出土している。土地利用は希薄なもの、前期末葉～中期中葉の資料は県内を見渡しても非常に少なく、本遺跡出土資料も遺跡分布などを考えらうえで重要である。

3 古墳時代

古墳時代後期の堅穴建物跡が6軒検出された。主体があるのはTK43型式期だが、TK10～209型式までの時期幅があり、比較的長期間にわたり居住域となっていたようである。第1次調査でも同時期の可能性が高い堅穴建物跡が検出され、当台地上は比較的多くの遺構が展開し、古墳時代後期の集落域と考えられる。また、現状認識されている古墳群との距離が非常に近く、古墳群と認識されている遺構は中世の城郭関連施設の一部の可能性もある（第15図下段）。また、第1・5号堅穴建物跡から検出された炭化材中から炭化種子がやまとまって検出された（第15図上段）。

4 奈良・平安時代

遺構は検出されなかつたが、他時期の遺構から奈良・平安時代と特定できる遺物が少量出土した。調査区外に遺構が存在する可能性がある。



第1・5号堅穴建物跡出土炭化種子



第15図 出土炭化種子と作山古墳群の現況

5 中・近世

遺構は検出されなかったが、陶磁器の碗・鉢類や火打石・寛永通宝などが少量出土した。小支谷を挟んで北側のへたの台貝塚からは中世の城郭関連施設が検出され、第1次調査では本遺跡からも地下式坑が検出された。また、本調査区西側には土壙の可能性がある高まりなどが確認でき、古墳群と認識されてきたものも城郭関連施設の一部の可能性がある。

今回の調査は限られた範囲の調査ではあったが、当台地上の土地利用や周辺遺跡との関係を考える上で貴重な資料を得ることができた。

参考文献

- 大賀健ほか 2007 『千葉市への台貝塚－平成18年度発掘調査－』有限公司社友起創業・千葉市教育委員会
小沢洋 2008 『房総古墳文化の研究』六一書房
湖口淳一ほか 2012 『埋蔵文化財調査（市内遺跡）報告書－平成23年度－』千葉市教育委員会生涯学習部生涯学習振興課
小林嵩 2016 『千葉市への台貝塚平成8年度調査の報告』『貝塚博物館紀要』第42号 千葉市立加曾利貝塚博物館 pp.1-24
小林嵩 2020 『千葉市への台貝塚出土和鏡の報告』『千葉いまむかし』No.33 千葉市教育委員会 pp.43-46
小林嵩ほか 2015 『千葉市への台貝塚－宅地造成事業に伴う埋蔵文化財調査報告書－』公益財團法人千葉市教育振興財団
後藤和民 1971 『千葉市仁戸名町 へたの台古墳群発掘調査概報』『貝塚博物館紀要』第4号 千葉市立加曾利貝塚博物館 pp.1-17
財團法人千葉市文化財調査協会編 1994 『財團法人千葉市文化財調査協会年報5－平成3年度－』財團法人千葉市文化財調査協会
白根義久編 1993 『埋蔵文化財調査（市内遺跡）報告書－平成4年度－』千葉市教育委員会
田中英世 1990 『千葉市への台貝塚』千葉市教育委員会・財團法人千葉市文化財調査協会
千葉市史編纂委員会編 1976 『千葉市史』史料編1 千葉市
塙原勇人ほか 2011 『埋蔵文化財調査（市内遺跡）報告書－平成22年度－』千葉市教育委員会生涯学習部生涯学習振興課
寺門義範編 1991 『埋蔵文化財調査（市内遺跡）報告書－平成2年度－』千葉市教育委員会
山下亮介 2007 『埋蔵文化財調査（市内遺跡）報告書－平成18年度－』千葉市教育委員会生涯学習部文化課

第1表 出土遺物集計表

遺物名			建物跡						調査区			統計		
			1 個体 破片	2 個体 破片	3 個体 破片	5 個体 破片	6 個体 破片	1 個体 破片	2 個体 破片	3 個体 破片				
		残存				1			1			1		
繩文	土器	加曾利Ⅰ～Ⅱ式										1		
		加曾利Ⅲ～Ⅳ式										1		
		加曾利Ⅴ式								1		1		
		勝坂式系						1				1		
弥生	土器	荒海式			1				1			1		
		特殊窓										1		
		甕	19	38	81	3	93	13	177	13	2	439		
古墳後期	土師器	高环		5	9	1	9		2			26		
		鉢	1	3	2		5	1	2	1		15		
		甕	1	8	12	1	17		14	1		54		
		瓶			2		1	1				4		
		壺・瓶	65	171	459		420		480	60	15	1670		
	須恵器	环身			1							1		
		环蓋		5	3		1		1			10		
		ハソウ					2					2		
	土製品	手捏ね			4							4		
		管状土錐					1					1		
古代		土玉	2		4			6				12		
		土器片軸用硯石		1								1		
		勾玉						3				3		
		鷲石				1	1					2		
		石製品		小玉	1							1		
		鉄滓					1					1		
中・近世		燒成粘土塊		2				1				3		
		土師器							1			1		
		環身							1		1	2		
		环蓋			1							1		
		壺・瓶類			1				2		1	4		
新石器時代		土器			1			1		5		7		
		陶磁器		碗・鉢類	1	4				2	2	9		
		石製品		火打石					1			1		
				鐵礦玉					1			1		
		銅製品		寶永通宝					1			1		
縄文		磐石	1		1							2		
		圓	1	1	5		12	2				21		
		時期不明土器			2	22		21		5		50		
		總計	5	86	4	234	14	599	20	569	28	689	3	83

第2表 出土遺物觀察表
縄文時代遺構外

1	縄文土器 深鉢	- <1.8>	胴部片。内面ナデ。外面は隆帯に沿わせた沈線で文様を描出。加曾利I～II式。S13出土。	石英少量、白色粒多量。	外面：5YR4/3 内面：5YR4/3	良好
2	縄文土器 深鉢	- <3.1>	胴部片。内面ナデ。外面は纏文施文（原体無鉛）。一部ナデ消えている。磨消が確認できる。加曾利II～III式。S16出土。	石英少量、白色粒多量。	外面：10YR4/1 内面：10YR4/1	良好
3	縄文土器 深鉢	- <4.5>	胴部片。内面ヘラナデ。外面磨消纏文（原体無鉛）。加曾利E式。I区出土。	石英・赤褐色粒少量、白色粒多量。	外面：2.5YR5/3 内面：2.5YR5/3	良好
4	縄文土器 深鉢	- <3.1>	胴部片。内面ナデ。外面は隆帯の左右に沈線を施す。一部に刻みが施される。隆帯上は竹管状工具による刻み。胴板式系。S16出土。	石英・石英微量、白色粒少量。	外面：7.5YR5/4 内面：7.5YR5/2	良好

弥生時代遺構外

1	弥生土器 特殊煮	- <3.1>	体部片。内面丁寧なナデ。外面は剛創的な手法により文様を描出。一部に燃文系（R）と赤彩が確認できる。荒海式。S13出土。	礫・石英・白色粒少量。	外面：10YR5/3 内面：10YR6/6	良好
2	弥生土器 甕	- <4.2>	胴部片。内面ナデ。外面条痕文。外面に炭化物付着。荒海式。S16出土。	礫・白色粒少量。	外面：10YR3/1 内面：10YR6/4	良好

第1号堅穴建物跡

1	土師器 坪	(12.0) - <3.1>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ミガキ。	石英・白色粒微量。	外面：5YR4/3 内面：5YR4/3	良好
2	土師器 坪	(12.0) - <2.4>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ミガキ。	石英・白色粒微量。	外面：5YR4/3 内面：5YR3/1	良好
3	土師器 坪	(14.0) - <3.5>	口縁部片。内面ヘラミガキ。口縁部内外面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ及びヘラミガキ。内外面黒彩。	石英・白色粒微量、赤褐色粒少量。	外面：5YR4/2 内面：5YR4/2	良好
4	土師器 坪	(14.0) - <3.5>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ミガキ。内外面黒彩。	礫少量、石英・白色粒中量。	外面：7.5YR4/1 内面：7.5YR4/1	良好
5	土師器 鉢	(8.0) - <2.5>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ナデ。内外面赤彩。	石英・白色粒微量。	外面：10R4/6 内面：10R4/6	良好
6	土製品 玉	完形。幅2.7cm、厚さ2.1cm、重量11.1g。ナデにより整形される。				
7	土製品 玉王	1/2残存。幅<1.7cm>、厚さ2.1cm、重量6.8g。ナデにより整形される。				
8	石製品 小玉	完形。幅0.6cm、厚さ0.5cm、重量0.3g。				

第2号堅穴建物跡

1	土師器 坪	(12.0) - <2.2>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ミガキ。外面に輪模痕残る。	石英・白色粒少量。	外面：7.5YR5/4 内面：7.5YR5/4	良好
2	土師器 坪	(12.0) - <6.0>	1/3残存。内面ヘラナデ及びナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナガ及びミガキ。	赤褐色粒微量、石英・白色粒中量。	外面：5YR5/6 内面：7.5YR5/4	良好
3	土師器 坪	(14.0) - <2.8>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ミガキ。内外面赤彩。	石英・白色粒少量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR4/6	良好
4	土師器 坪	(14.0) - <2.1>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ミガキ。	石英・白色粒微量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR4/6	良好
5	土師器 坪	(13.0) - <2.8>	体部片。内面ナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	石英・白色粒微量、赤褐色粒少量。	外面：7.5YR5/6 内面：7.5YR5/6	良好
6	土師器 坪	(16.0) - <2.7>	口縁部片。内面ヘラミガキ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナガ。内外面黒彩。	石英・白色粒少量。	外面：7.5YR3/2 内面：10YR3/1	良好
7	土師器 坪	(9.0) - <3.3>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナガ。内外面黒彩。	白色粒少量。	外面：7.5YR3/1 内面：2.5YR4/4	良好
8	土師器 高坪	- <6.1>	环部～脚部1/3残存。环部内面剥落、外面ヘラケズリ後ナデ。脚部内面ナデ及びヘラナデ、外面ヘラケズリ後ナデ。被熱。	礫・石英少量、白色粒中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR5/6	良好
9	土師器 高坪	- <3.5>	环部～脚部片。环部内面ヘラケズリ、外面ヘラケズリ後ナデ。脚部内面ヘラケズリ。外面赤彩。	海綿骨針微量、石英・白色粒少量。	外面：5YR5/6 内面：5YR5/4	良好

10	土師器 鉢	(13.0) - <7.3>	口縁～体部。内面～ラケズリ後ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外 面～ラケズリ後ミガキ。内外面赤色。	礫微量、石 英・白色粒中 量。	外面：2.5YR4/8 内面：2.5YR4/8	良好
11	土師器 鉢	(12.0) - <6.5>	口縁～体部。内面ナデ。輪積痕残る。口縁部内外面ヨコナデ。外 面ナデ。内外面赤色。	礫微量、石 英・白色粒少 量。	外面：2.5YR4/4 内面：2.5YR4/4	良好
12	土師器 甕	18.4 - <6.9>	口縁～胴部上端残存。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面に工具 痕残る。外面～ラケズリ後ナデ。	礫・海綿骨針 微量、石英・ 白色粒中量。	外面：7.5YR5/6 内面：7.5YR5/6	良好
13	土師器 甕	(16.0) - <6.5>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。下端に工具痕残る。 外面～ラケズリ後ナデ。外面に焼化物付着。内面は剥落する。	礫微量、石 英・白色粒中 量。	外面：5YR4/3 内面：5YR4/4	良好
14	土師器 甕	- - <24.2>	胴部1/2残存。内面ナデ。外面～ラケズリ後ナデ。外面に焼化物付着。	礫微量、石 英・白色粒中 量。	外面：2.5YR4/4 内面：7.5YR5/4	良好
15	土師器 甕	(7.4) <2.9>	底部片。内面及び外外面ナデ。底部～ラケズリ後ナデ。	礫・海綿骨針 微量、石英・ 白色粒中量。	外面：5YR4/3 内面：5YR4/2	良好
16	土師器 甕	- - <2.5>	胴部片。焼の胴部外面に3条の条線が確認できる。	礫微量、石 英・白色粒中 量。	外面：5YR4/1 内面：5YR4/6	良好
17	須恵器 外身	(14.0) - <1.8>	口縁部片。内外面クロナデ。	白色粒微量。	外面：7.5Y5/1 内面：7.5Y5/1	良好
18	須恵器 环盖	(14.0) - <2.4>	口縁部片。内外面クロナデ。外面自然釉付着。	精良。	外面：7.5Y6/1 内面：7.5Y6/1	良好
19	須恵器 环蓋	(14.0) - <1.8>	口縁部片。内面クロナデ。外面回転～ラケズリ。外面自然釉付 着。	白色粒微量。	外面：7.5Y5/1 内面：10Y5/1	良好
20	土製品 砾石	幅5.0cm、 厚さ0.6cm、 环の体部を砾石として転用したもの。金属器を研いだ痕 が3ヶ所確認できる。	石英・白色粒 少量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好	

第3号窓穴建物跡

1	土師器 环	(15.0) - <3.0>	口縁部片。内面～ラケズリ後ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ナ デ。	石英・礫少 量。	外面：7.5YR4/6 内面：7.5YR4/6	良好
2	土師器 环	(15.0) - <5.4>	1/4残存。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ナデ。内外面赤 色。	礫微量、石 英・白色粒中 量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
3	土師器 环	- - <2.9>	体部片。内面ナデ。外面～ラケズリ後ナデ。	礫少量、石 英・白色粒中 量。	外面：5YR4/4 内面：5YR4/4	良好
4	土師器 环	(15.0) - <2.3>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面～ラケズリ。内 外面赤色。	石英・白色粒 微量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
5	土師器 环	(14.0) - <2.5>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面～ラケズリ後ナ デ。内外面赤色。	石英・白色粒 少量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR4/6	良好
6	土師器 环	(12.0) - <2.2>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ナデ。内外面赤 色。	石英・白色粒 微量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
7	土師器 环	(14.0) - <2.5>	口縁部片。内面～ラミガキ。外面ミガキ。内外面黒色。	石英・白色粒 微量。	外面：2.5Y3/1 内面：2.5Y3/1	良好
8	土師器 环	(14.0) - <2.9>	口縁部片。内面及び口縁部外面ミガキ。外面～ラケズリ後ミガキ。 内外面黒色。	石英・白色粒 少量。	外面：7.5YK3/1 内面：7.5YK3/1	良好
9	土師器 高环	- - <2.4>	环部片。内面ナデ。外面～ラケズリ後ナデ。	石英・白色粒 少量。	外面：5YR4/6 内面：5YR4/6	良好
10	土師器 高环	- - <2.9>	环～脚部片。环部内面ナデ。外面～ラケズリ後ナデ。脚部内面～ ラケズリ。	礫微量、石 英・白色粒中 量。	外面：10YR5/4 内面：10YR5/4	良好
11	土師器 高环	- (10.0) <4.5>	脚部片。内面～ラケズリ。胴部内外面ヨコナデ。外面～ラケズリ後 ナデ。	石英・白色粒 中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR5/6	良好
12	土師器 鉢	(11.0) - <3.9>	口縁部片。内外面ナデの後～ラミガキ。内外面赤色。	礫・石英・白 色粒微量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
13	土師器 鉢	- - <1.8>	体部片。内面ナデ。外面に鋸歯状の條線が確認できる。	石英・白色粒 微量。	外面：5YR5/4 内面：5YR5/4	良好

14	土師器 甕	(15.0) - <7.4>	口縁部片。内面ナデ。輪樋痕が残る。口縁部内外面ヨコナデ。外面ナデ。	繊微量、石英・白色粒少量。	外面：SYR5/4 内面：SYR5/4	良好
15	土師器 甕	(18.0) - <6.0>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ。口縁部下端に工具痕残る。外面に炭化物付着。	石英・白色粒中量。	外面：SYR5/4 内面：SYR5/4	良好
16	土師器 甕	- (9.0) <2.0>	底部片。内面ヘラナデ。外面及び底部ヘラケズリ。	繊微量、石英・白色粒中量。	外面：10YR3/2 内面：10YR5/4	良好
17	土師器 甕	- (8.0) <3.2>	底部片。内面ナデ。外面ヘラケズリ。	繊微量、石英・白色粒中量。	外面：10YR4/2 内面：SYR5/4	良好
18	須恵器 环蓋	(14.0) - <2.4>	口縁部片。内外面ロクロナデ。外面自然釉付着。	白色粒少量。	外面：5Y4/1 内面：5Y4/1	良好
19	須恵器 环蓋	(14.0) - <1.8>	口縁部片。内外面ロクロナデ。外面自然釉付着。	白色粒少量。	外面：5Y5/1 内面：5Y5/1	良好
20	須恵器 环蓋	(14.0) - <1.7>	口縁部片。内外面ロクロナデ。口唇部外面に斜状の擦痕。	繊・白色粒微量。	外面：5Y5/1 内面：5Y5/1	良好
21	土製品 手捏ね	6.6 5.8 2.7	完形。内面ヘラケズリ。口縁部内外面ヨコナデ。外面及び底部ヘラケズリ。	石英・白色粒中量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR4/6	良好
22	土製品 手捏ね	7.6 6.0 3.1	完形。内面ナデ。口縁部外面ヨコナデ。外面ナデ。底部木葉底。	石英・白色粒少量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR4/6	良好
23	土製品 手捏ね	9.5 6.6 4.0	2/3残存。内面ヘラケズリ。口唇部に刻み。外面ナデ。口縁直下に輪積痕残る。底部木葉底。	繊微量、石英・白色粒少量。	外面：2.5YR2/1 内面：2.5YR2/1	良好
24	土製品 手捏ね	4.2 - 2.0	1/2完形。内面指痕残る。外面ナデ。	石英・白色粒微量。	外面：2.5YR4/4 内面：2.5YR4/4	良好
25	土製品 土玉		完形。幅2.6cm、厚さ2.3cm、重量12.8g。ナデにより整形される。			
26	土製品 土玉		一部欠損。幅2.8cm、厚さ2.9cm、重量19.6g。ナデにより整形される。			

第5号堅穴建物跡

1	土師器 坪	(14.0) - 5.1	1/2残存。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面下半～外面上半赤彩。内面の底面は十字に赤彩される。	繊・石英・白色粒中量。	外面：2.5Y5/6 内面：2.5Y5/6	良好
2	土師器 坪	(15.0) - <5.3>	1/2残存。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面赤彩。	繊微量、石英・白色粒中量。	外面：2.5Y5/6 内面：2.5Y5/6	良好
3	土師器 坪	13.4 - 5.5	2/3残存。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ及びミガキ。内面赤彩及び黒彩。	繊微量、石英・白色粒少量。	外面：2.5YR3/1 内面：2.5YR4/6	良好
4	土師器 坪	(15.0) - <3.0>	口縁部片。内面ミガキ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	石英・白色粒少量。	外面：SYR4/2 内面：SYR4/2	良好
5	土師器 坪	(15.0) - <3.0>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面赤彩。	石英・白色粒少量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR4/6	良好
6	土師器 坪	(14.0) - <3.7>	口縁部片。内面剥落。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	繊微量、石英・白色粒少量。	外面：2.5YR4/8 内面：2.5YR4/8	良好
7	土師器 坪	(14.0) - <3.6>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面赤彩。	繊微量、石英・白色粒中量。	外面：SYR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
8	土師器 坪	(14.0) - <2.4>	口縁部片。内面及び口縁部外面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ミガキ。内面黒彩。	繊・赤褐色粒微量、石英・白色粒少量。	外面：SYR3/1 内面：SYR4/2	良好
9	土師器 坪	(14.0) - <1.9>	口縁部片。内面及び口縁部外面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ミガキ。内面黒彩。	白色粒少量。	外面：SYR3/1 内面：SYR3/1	良好
10	土師器 高坪	13.6 (7.6) 9.5	2/3残存。坪部内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。脚部内面ヘラケズリ。根部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。坪内面下半～外面赤彩。	繊・赤褐色粒・石英少量、白色粒中量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好

11	土師器 高坏	- 8.5 <5.0	脚部4/5残存。坏部内面剥落。脚部内面へラケズリ。根部内外面ヨコナデ。外歯へラケズリ後ナデ。	繩・赤褐色 粒・石英少 量。白色粒中 量。	外面：5YR5/6 内面：5YR5/8	良好
12	土師器 鉢	(14.0) - <3.5*	口縁部片。内面ナデ。口縁部内面及び外面ヨコナデ。	石英・白色粒 少量。	外面：5YR4/6 内面：5YR4/6	良好
13	土師器 鉢	(14.0) - <3.5*	口縁部片。内面へラケズリ。口縁部内面及び外面ナデの後へラミガ キ。内外面赤絵。	石英・白色粒 少量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR4/6	良好
14	土師器 鉢	(12.0) - <5.0*	口縁部片。内面へラケズリ後ナデ。口縁部内面ヨコナデ。外面へ ラケズリ後ナデ。内外面赤絵。外面灰化物付着。	石英・白色粒 少量。	外面：5YR4/2 内面：5YR4/3	良好
15	土師器 鉢	- (4.0) <2.2*	底部片。内面ナデ。外面及び底部へラケズリ後ナデ。	石英・白色粒 少量。	外面：2.5YR2/1 内面：7.5YR6/4	良好
16	土師器 甕	(14.6) 6.0 16.4	1/2残存。内面ナデ。一部輪積底残る。口縁部内外面ヨコナデ。外歯 へラケズリ後ナデ。剥落著しい。底部へラケズリ後ナデ。	繩少量、石 英・白色粒中 量。	外面：5YR5/4 内面：7.5YR5/2	良好
17	土師器 甕	(16.0) - <16.1*	口縁部へ胴部片。内面ナデ及びへラナデ。口縁部内外面ヨコナデ。 外面へラケズリ後ナデ。口縁部外面輪積底残る。	繩少量、石 英・白色粒中 量。	外面：7.5YR4/4 内面：7.5YR5/4	良好
18	土師器 甕	(30.0) - <14.2*	口縁部へ胴部片。内面へラナデ。口縁部内外面ヨコナデ。内面一部 へラミガキ。外面工具痕残る。外面へラケズリ。	赤褐色粒・ス コリア・石 英・白色粒少 量。	外面：10YR6/4 内面：10YR6/4	良好
19	土師器 甕	(16.0) - <4.8*	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。下端に工具痕残る。 外面灰化物付着。	スコリア・石 英・白色粒少 量。	外面：10YR6/4 内面：7.5YR5/4	良好
20	土師器 甕	(20.0) - <5.3*	口縁部片。内面へラナデ。口縁部内外面ヨコナデ。下端に工具痕残 る。外面灰化物付着。	赤褐色粒・ス コリア・石 英・白色粒少 量。	外面：5Y2/1 内面：10YR3/2	良好
21	土師器 甕	(16.0) - <4.4*	口縁部片。内外面ヨコナデ。	石英・白色粒 少量。	外面：10YR5/4 内面：10YR5/4	良好
22	土師器 甕	- (7.0) <14.2*	胴部下半～底部片。内面へラナデ。剥落著しい。外面及び底部へラ ケズリ後ナデ。	スコリア・石 英・白色粒少 量。	外面：7.5YR3/2 内面：10YR5/4	良好
23	土師器 甕	- 6.4 <2.2*	底部残存。内面ナデ。外面及び底部へラケズリ後ナデ。	繩・石英・白 色粒中量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR4/6	良好
24	土師器 甕	- (15.0) <4.4*	底部片。内面剥落。外面及び底部へラケズリ後ミガキ。	石英・白色粒 少量。	外面：7.5YR2/1 内面：10YR6/4	良好
25	土師器 甕	- (7.0) <2.6*	底部片。内面及び下端へラケズリ。外面へラケズリ後ナデ。	石英・白色粒 少量。	外面：7.5YR5/4 内面：7.5YR5/4	良好
26	須恵器 环蓋	(14.0) - <2.3*	口縁部片。内外面ヨコナデ。	石英・白色粒 微量。	外面：5Y5/1 内面：5Y5/1	良好
27	須恵器 ハソウ	- <2.8*	口縁部片。内外面ヨコナデ。内面自然釉付着。外面口縁直下に突 起で区画した網彫波状文。	白色粒微量。	外面：5Y4/1 内面：5Y4/1	良好
28	須恵器 ハソウ	- <1.5*	口縁部片。内外面ヨコナデ。内面自然釉付着。外面口縁直下に網 彫波状文。27と同一個体。	白色粒微量。	外面：5Y4/1 内面：5Y4/1	良好
29	土製品 管状土種	破片。長さ<3.6cm、重量29.7g。ナデにより整形される。				
30	石製品 硯石	破片。長さ3.7cm、幅1.6cm、厚さ2.2cm、重量24.0g。4面ともに使用痕が残る。一部に金屬器を研いだ痕跡が確認できる。				
31	鉛滓	幅4.8cm、厚さ2.3cm、重量22.9g。				
第6号堅穴建物跡						
1	土師器 坏	10.6 - 5.3	ほぼ完形。内面ナデ及びミガキ。口縁部内外面ヨコナデ。外面へラ ケズリ後ミガキ。	繩少量、石 英・白色粒中 量。	外面：7.5YR5/6 内面：7.5YR5/6	良好
2	土師器 坏	11.6 - 4.8	ほぼ完形。内面ナデ及びへラナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面へ ラケズリ後ミガキ。	繩少量、石 英・白色粒中 量。	外面：7.5YR5/6 内面：7.5YR5/6	良好
3	土師器 坏	11.4 - 5.5	ほぼ完形。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面へラケズリ後ミ ガキ。	繩少量、石 英・白色粒中 量。	外面：10YR5/4 内面：7.5YR5/6	良好

4	土師器 坏	11.0 - 5.8	1/10完形。内面ナデ及びミガキ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫微量、石英・白色粒少量。	外面：SYR4/4 内面：SYR2/1	良好
5	土師器 坏	12.5 - 4.6	4/5残存。内面ナデ及びミガキ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫少量、石英・白色粒中量。	外面：7.5YR6/4 内面：7.5YR6/4	良好
6	土師器 坏	(10.0) - <4.5	1/3残存。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	石英・白色粒中量。	外面：5YR5/4 内面：10YR4/1	良好
7	土師器 坏	(13.0) - <4.1	1/2残存。内面及び口縁部外面ミガキ。外面ヘラケズリ後ミガキ。内面黒彩。口唇部摩耗が著しい。	赤褐色粒微量、石英・白色粒中量。	外面：5YR3/1 内面：5YR4/2	良好
8	土師器 坏	(14.0) - 3.9	2/3残存。内面及び口縁部外面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ナデ。	石英・白色粒中量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR4/6	良好
9	土師器 坏	(15.0) - <3.8	口縁へ体部片。内面ヘラミガキ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ。	礫微量、石英・白色粒少量。	外面：5YR3/1 内面：5YR3/1	良好
10	土師器 坏	(14.0) - 4.4	2/3残存。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	石英・白色粒微量、赤褐色粒少量。	外面：5YR6/6 内面：5YR6/6	良好
11	土師器 坏	(14.0) - <2.7	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ。	赤褐色粒微量、石英・白色粒少量。	外面：5YR5/4 内面：7.5YR4/1	良好
12	土師器 坏	- <1.1	底部片。内面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ミガキ。	石英・白色粒微量。	外面：5YR4/6 内面：5YR4/4	良好
13	土師器 坏	13.0 - 4.0	2/3残存。内面ヘラナデ後ミガキ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ミガキ。内面上半～外面上半赤彩。	礫・石英・白色粒中量。	外面：2.5YR4/4 内面：2.5YR4/4	良好
14	土師器 坏	(14.0) - 4.2	1/2残存。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後丁寧なナデ。内外面赤彩。	礫・石英・白色粒少量、スコリア中量。	外面：2.5YR4/8 内面：2.5YR4/8	良好
15	土師器 坏	(15.0) - <3.3	口縁部片。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ミガキ。内外面赤彩。	石英・白色粒少量。	外面：2.5YR4/8 内面：2.5YR4/8	良好
16	土師器 坏	(15.0) - <3.5	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	石英・白色粒中量。	外面：2.5YR4/8 内面：2.5YR4/8	良好
17	土師器 坏	- <1.2	底部片。内面ナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面に1条の赤彩が施される。	礫微量、石英・白色粒少量。	外面：5YR4/6 内面：5YR4/6	良好
18	土師器 坏	(14.5) - <4.1	1/2残存。内面ヘラミガキ。口縁部外面ミガキ。外面ヘラケズリ後ミガキ。内外面黒彩。	石英・白色粒少量。	外面：10YR4/2 内面：10YR4/2	良好
19	土師器 坏	(14.0) - 4.1	2/3残存。内面剥落。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ミガキ。内面黒彩。	礫微量、石英・白色粒少量。	外面：7.5YR5/4 内面：5YR5/6	良好
20	土師器 坏	(16.0) - <4.1	1/3残存。内面及び口縁部外面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ヘラミガキ。内面～外面上半黒彩。	礫微量、石英・白色粒少量。	外面：10YR6/4 内面：10YR7/3	良好
21	土師器 坏	(15.0) - 3.8	2/3残存。内面ヘラミガキ。口縁部内外面ミガキ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面～外面上半黒彩。摩耗している。	礫微量、石英・白色粒少量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
22	土師器 坏	(14.0) - 3.7	1/4残存。内面ミガキ。上端はヘラミガキ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面黒彩。口唇部に薬瓶柄によって齧られた痕跡あり。	石英・白色粒微量、赤褐色粒少量。	外面：10YR6/4 内面：10YR6/4	良好
23	土師器 坏	(13.0) - 4.5	1/4残存。内面ヘラミガキ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面黒彩。	赤褐色粒微量、石英・白色粒少量。	外面：7.5YR6/4 内面：7.5YR6/4	良好
24	土師器 坏	(14.0) - <3.5	1/4残存。内面及び口縁部外面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ミガキ。内外面黒彩。	石英・白色粒少量。	外面：7.5YR6/4 内面：7.5YR6/4	良好
25	土師器 坏	(16.0) - <3.8	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。外面黒彩。	石英・白色粒・赤褐色粒少量。	外面：10YR6/4 内面：10YR6/4	良好
26	土師器 坏	11.4 6.2 11.4	完形。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面及び底部ヘラケズリ。	礫少量、石英・白色粒中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR5/6	良好
27	土師器 坏	(11.0) - <3.5	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ナデ。被熱。	石英・白色粒少量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR3/1	良好

28	土師器 鉢	(11.0) - <4.2>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラナデ。粘土状の付着物あり。	石英・白色粒少量。	外面：2.5YR4/6 内面：5YR4/3	良好
29	土師器 甕	(19.0) - <9.0>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫微量、石英・白色粒少量。	外面：5YR4/2 内面：5YR4/2	良好
30	土師器 甕	22.6 6.7 21.7	完形。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。下端ヘラケズリ。	赤褐色粒微量、石英・白色粒中量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
31	土製品 土玉	完形。幅3.5cm、厚さ2.5cm、重量28.1g。ナデにより整形され、孔部周辺はヘラケズリ。				
32	土製品 土玉	完形。幅3.3cm、厚さ3.1cm、重量27.3g。ナデにより整形される。接合痕が残る。				
33	土製品 土玉	一部欠損。幅2.6cm、厚さ2.2cm、重量12.3g。ナデにより整形される。				
34	土製品 土玉	完形。幅2.2cm、厚さ1.8cm、重量7.0g。ナデにより整形される。				
35	土製品 土玉	一部欠損。幅2.8cm、厚さ2.6cm、重量17.7g。ナデにより整形される。				
36	土製品 勾玉	一部欠損。長さ<3.0cm>。厚さ1.0cm、重量3.6g。ナデにより整形される。				
37	土製品 勾玉	一部欠損。長さ<3.1cm>。厚さ1.0cm、重量3.2g。ナデにより整形される。被熱し非常に黒い。				
38	土製品 勾玉	破片。長さ<2.1cm>、厚さ0.8cm、重量1.7g。ナデにより整形される。被熱し黒い。				
39	石製品 紙石	完形。幅7.4cm、厚さ5.2cm、重量37.1g。軽石製の紙石。金属器を研いで痕跡が一部に確認される。				
奈良・平安時代遺構外						
1	土師器 甕	- <2.5>	口縁部片。内外面クロナデ。複合口縁。SI6出土。	石英・白色粒少量。	外面：7.5Y4/1 内面：7.5Y3/1	良好
2	須恵器 环蓋	- <1.3>	頂部片。内面クロナデ。外面回転ヘラケズリ。SI3出土。	石英・白色粒微量。	外面：7.5Y5/1 内面：7.5Y5/1	良好
3	須恵器 壺・瓶類	(8.0) - <1.9>	口縁部片。内外面クロナデ。内外面自然釉付着。SI6出土。	白色粒微量。	外面：7.5Y7/1 内面：5Y7/3	良好
中・近世遺構外						
1	石器 火打石	完形。長さ1.9cm、幅1.3cm、重量4.4g。角に潰れた痕跡が確認できる。I区出土。				
2	鉄鎧玉	完形。長さ1.8cm、厚さ1.2cm、重量1.2g。石製と思われる。I区出土。				
3	銭 宣永通宝	完形。径2.8cm、重量3.9g。I区出土。				

写真図版 1



調査前現況（北から）



第1号竪穴建物跡全景（南東から）



第2・6号竪穴建物跡全景（南東から）



第2号竪穴建物跡全景（南東から）



第3・5号竪穴建物跡全景（南から）



第3・5号竪穴建物跡断面（南西から）



第3号竪穴建物跡遺物出土状況（南から）



第3号竪穴建物跡全景（南から）

写真図版 2



第4号竪穴建物跡全景（南東から）



第5号竪穴建物跡全景（南西から）



第5号竪穴建物跡貯蔵穴内遺物出土状況（北から）



第6号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）



第6号竪穴建物跡全景（南東から）



調査風景 1



調査風景 2



調査終了

縄文時代遺構外



弥生時代遺構外



第1号堅穴建物跡

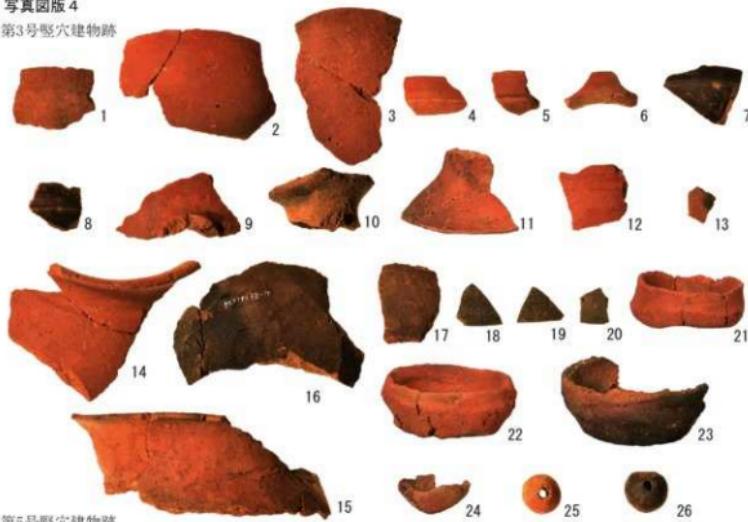


第2号堅穴建物跡

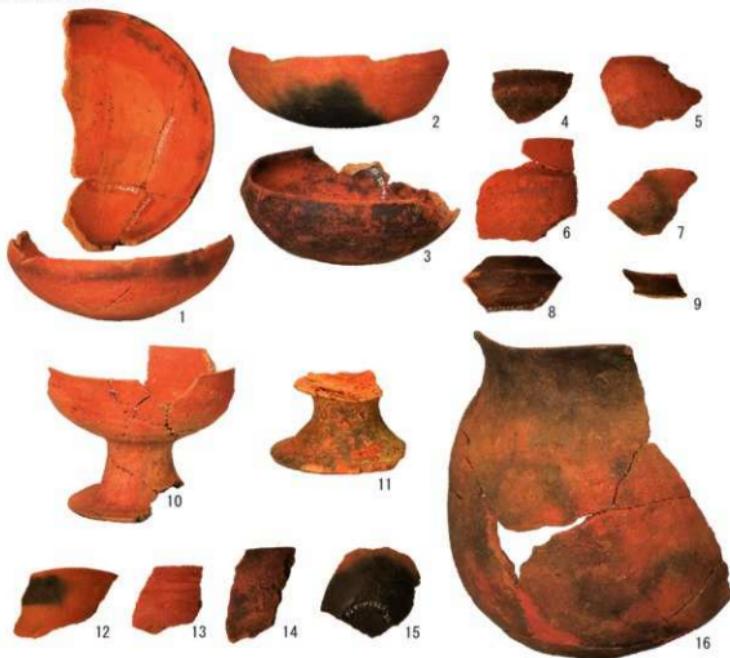


写真図版 4

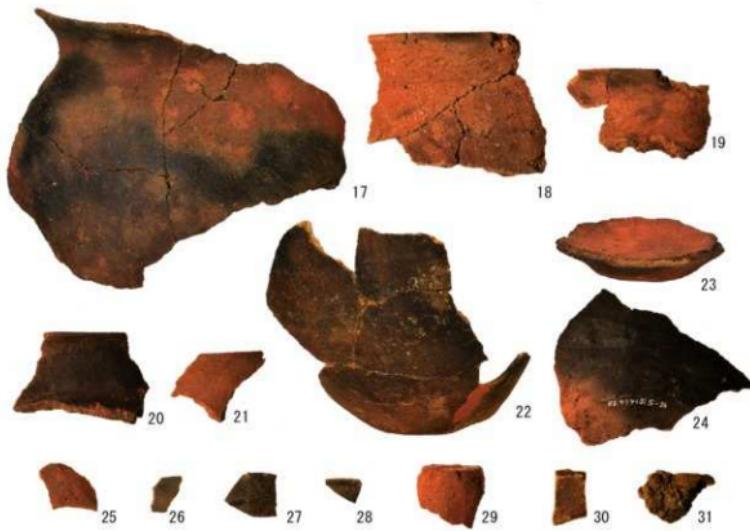
第3号竪穴建物跡



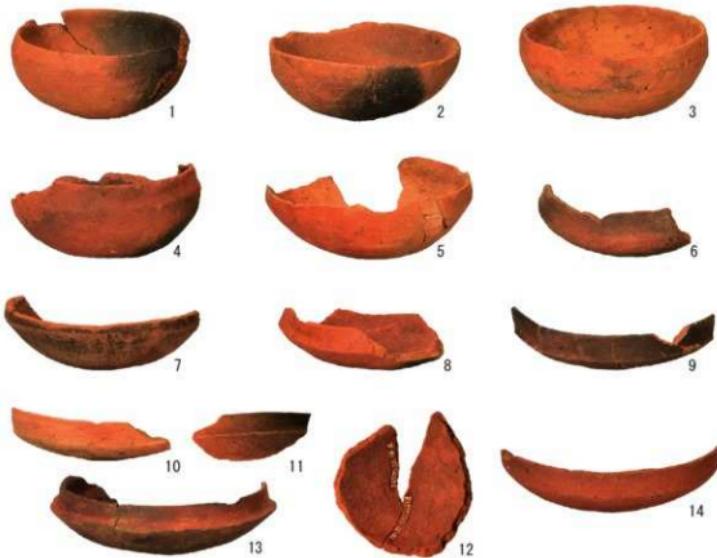
第5号竪穴建物跡



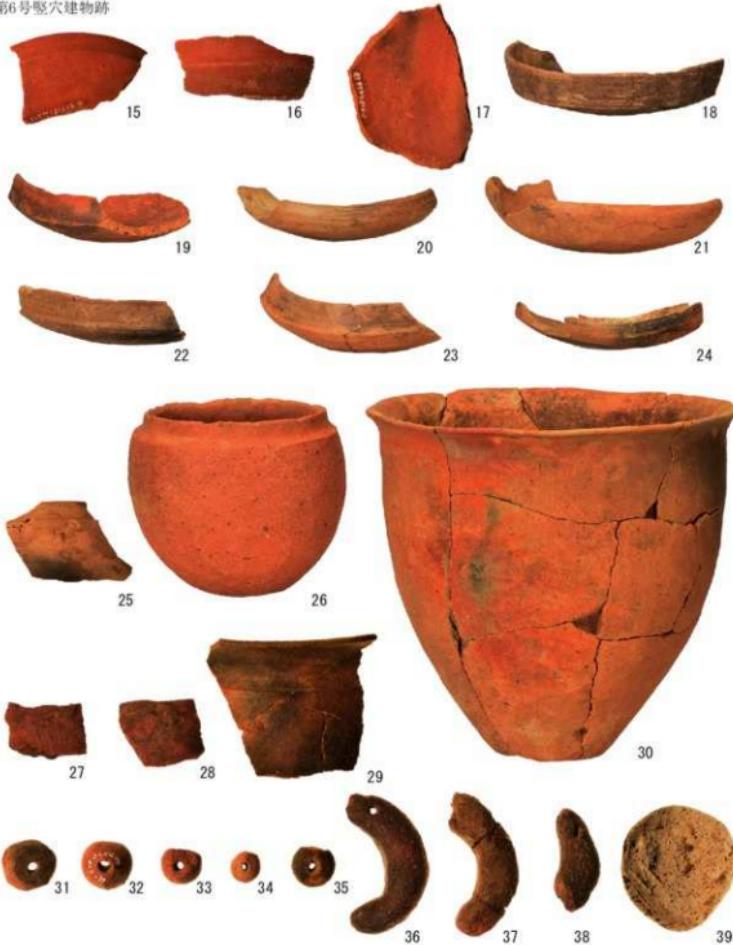
第5号竪穴建物跡



第6号竪穴建物跡



写真図版 6
第6号堅穴建物跡



奈良・平安時代遺構外



1



2



3



1



2



3

中・近世遺構外

報告書抄録

ふりがな	ちばしさくやまこふんぐん					
書名	千葉市作山古墳群					
副書名	宅地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書					
巻次						
シリーズ名						
シリーズ番号						
編著者名	小林嵩					
編集機関	公益財団法人 千葉市教育振興財団 事務局 埋蔵文化財調査担当					
所在地	〒260-0814 千葉市中央区南生実町1210 埋蔵文化財調査センター内 TEL: 043-266-5433					
発行年月日	2022年3月28日					
ふりがな	ふりがな	コード	経緯度	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村				
ちばしさくやまこふんぐん 作山古墳群	ちばしさくやまこふんぐん 中央区仁戸名町の各一部	397-3125 12101	北緯 35° 35' 30" 東経 140° 09' 37"	2020/12/4 ~ 2020/12/7	291.7 m ²	宅地造成
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
作山古墳群	包藏地	縄文時代		土器		
	包藏地	弥生時代		土器		
	集落	古墳時代	竪穴建物跡 6軒	土器・土製品・石製品・陶製品	炭化種子	
	包藏地	奈良・平安時代		土器		
	包藏地	中・近世		陶磁器類・石製品・陶製品		
要約	1 縄文時代 加曾利E式が僅かに出土。 2 弥生時代 荒海式が僅かに出土。 3 古墳時代 古墳時代後期の竪穴建物跡が6軒検出された。第1号竪穴建物跡からは炭化種子がまとまって検出された。 4 奈良・平安時代 土器類が僅かに出土。 5 中・近世 陶磁器類や石製品・金属製品が僅かに出土。周囲に城郭関連施設が展開する可能性あり。					

千葉市作山古墳群
一宅地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書—
令和4年3月28日発行

編集・発行 公益財団法人 千葉市教育振興財団
事務局 埋蔵文化財調査担当
〒260-0814
千葉市中央区南生実町1210
埋蔵文化財調査センター内
TEL : 043-266-5433

印 刷 株式会社 正文社
〒260-0001
千葉市中央区都町1-10-6
TEL : 043-233-2235